



CABおよびSABの
発行ハイライト



CAB評価報告書



気候銀行ロードマップ



EUタクソノミー気候
委任法



COVAX構想



2020年CAB / SABの配分



121 のプロジェクト



30 か国



86 億ユーロの配分



77 のプロジェクト



36 か国

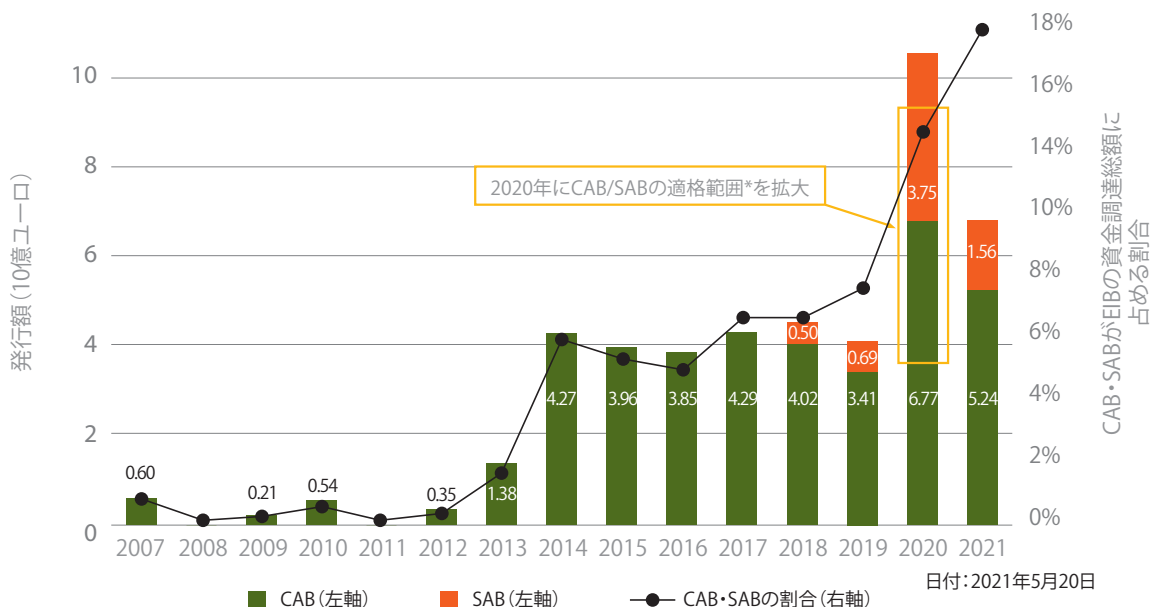


39 億ユーロの配分

2021年債券発行ハイライト

EIBのサステナビリティ・ファンディングの戦略的発展

今年、欧州投資銀行 (EIB) のサステナビリティ・ファンディング (持続可能性関連の資金調達) は好調なスタートを切り、5月半ばまでに「気候変動への認知度を高めるための債券」(CAB) と「持続可能性への認知度を高めるための債券」(SAB) を68億ユーロ相当額発行しました。



2021年最初のSABは、EUによるパリ・ワンプラネット・サミットでの生物多様性の推進を強調

EIBが新たに発行した2021年償還15億ユーロのSABはSABの適格範囲を、EUタクソノミー規則で掲げる目標「生物多様性とエコシステムの保護と回復」に重要な貢献をするプロジェクトに拡大しました。

プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください。

EIBはドイツの貯蓄銀行とESG問題に取り組み、2030年償還5億ユーロのCABを相対で新規発行

[ドイツの貯蓄銀行の気候に配慮したサステナブル \(持続可能な\) 事業運営へのコミットメント](#) の公表と [ドイツ政府サステナブル・ファイナンス委員会 \(FCSF\)](#) の最終報告書は、EIBがドイツの貯蓄銀行と、2030年償還のCAB5億ユーロを相対で発行することを通してESG問題に取り組む絶好の機会を与えてくれました。この発行は、EIBがEUタクソノミー規則と今後予定されるEUグリーンボンド基準を早い段階から適用してきたことを証明するものとなりました。FCSFは、ドイツの公共セクターの発行体に対しこのアプローチを推奨し、銀行自身の融資や投資のポートフォリオにおけるグリーン投資の重要性を強調しています。

プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください。

19の通貨でCAB発行

新たな2通貨での発行が今年すでに実施されました。

- ・ロシア・ルーブル (RUB)
- ・オフショア中国元 (CNH) (EIB初の中国元シンジケート)

プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください。

過去最大のカナダ・ドル建てグリーンボンド

- ・2028年償還10億カナダ・ドルのCABを新規発行 (プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください。)

豪ドル建てのサステナビリティ・ファンディングの金額はすでに記録を更新

CAB/SAB形式のEIBのカンガルー債は2024~2036年償還で発行され、年初来で過去最高の18億5,000万豪ドルに達しました。

- ・2021年の債券発行の皮切りとなった2027年償還12億5,000万豪ドルのCABは、国際機関発行のグリーン・カンガルー債としては過去最大額となりました (プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください)
- ・2036年償還2億豪ドルのCABはEIBが発行したカンガルー債として最長で、国際機関のグリーン・カンガルー既発債としても最長です (プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください)

2027年償還12億5,000万ポーランド・ズロチのCABを新規発行

- ・過去最大のズロチ建てCABで、初めて現地投資家に限定して発行 (プレス・リリースは [こちら](#) をご覧ください)



15億米ドルのグローバルCABは、EUサステナビリティ・タクソノミーとEUグリーンボンド基準への市場の関心が高まる中、各国投資家から歓迎されました。

この債券は、欧州委員会の気候委任法案（EUタクソノミーの最初の例）が公表された後に発行され、EIBがEUタクソノミー規則と近く制定予定のEUグリーンボンド基準を早い段階から適用してきたことを強調するものとなりました。58億ドル以上の需要（共同主幹事分を除く）を受けて、発行額は最低額の10億ドルから増額され、また発行条件は当初の価格ガイダンスより2ベース・ポイント縮小となりました。

プレス・リリースは[こちらをご覧ください](#)。詳細については、次の記事を参照してください。

CABは、ルクセンブルク・グリーン証券取引所に上場された1000件目の債券です。

サステナビリティ・ファンディング・チームは2021年5月6日、欧州委員会がEUサステナビリティ・タクソノミーの最初の例であるタクソノミー気候委任法（6ページ参照）を公表したのを受け、2031年5月13日償還のグローバルCABを15億ドル新規発行しました。

この債券はルクセンブルク・グリーン証券取引所に上場された1000件目のサステナブル債券となるように発行されました。ルクセンブルク証券取引所（LuxSE）とEIBは、LuxSEでの公式式典で「ベルを鳴らし」てこの節目を祝いました。

この式典はPierre Gramegnaルクセンブルク財務相、LuxSEのJulie Becker CEO、EIBバイスプレジデントのRicardo Mourinho Félixが出席して開催されました。



Mourinho Félixの他に、財務局長のBertrand de Mazières、資本市場ディレクターのEila Kreivi、サステナビリティ・ファンディング責任者のAldo Romanilに加えて、サステナビリティ・ファンディング・チーム、プロジェクト管理、内部評価、広報部門の各代表者が参加しました。また、この発行の主幹事4行バークレイズ、シティバンク、クレディ・アグリコル、ドイツ銀行の代表者も参加しました。バイスプレジデントのMourinho Félixは、そのスピーチで**当債券の発行日がヨーロッパの日である5月9日であるという事実を強調しました。**

1950年、シューマン大臣は欧州連邦の第一段階として石炭と鉄の生産の共同化を提案しました。現在では、統合プロセスの完了は経済の脱炭素化と結びついています。この目的のために、私たちはサステナブルな資金調達、言い換えれば、サステナブルな経済活動に配分される資金の調達を必要とします。資本市場の信頼と支援は不可欠で、適切で信頼できる比較可能な情報の提供が求められています。EIBとLuxSEはこの取り組みにおける緊密なパートナーです。

CABの評価ではサステナビリティ・ファンディングでEIBが果たす基盤的役割を強調

EIB運営評価チームが行った評価では、2007年から2020年までの間にグリーンボンド市場でEIBが果たした役割について調査しました。この報告書は、EIBがその「気候変動への認知度を高めるための債券」(CAB) 発行の規模と規則性を通じてグリーンボンドを正当な資産クラスとして確立する上で基盤的な役割を果たし、市場のガバナンスや基準を発展させた先駆者であると結論付けています。同報告書はまた、EIBにとってCABが持つより深い戦略的価値を認め、「EIBは、資本市場に関する専門知識とCABへのアプローチによって、戦略的にサステナブル・ファイナンス (持続可能な金融) 分野における主要な発展の最前線に立つことができ、他の市場参加者に対し競争上の優位性を確保している」と述べています。運営評価チームはEIB内の独立組織で、EIBの経営委員会に直接報告します。CABの評価に際し、同チームは外部の専門家やコンサルタントの支援を受け、複数の市場参加者 (投資家、引受会社、発行体など) にヒアリングを実施しています。

この報告書はEIBに対し、主に以下の5点を行うよう勧告しています。

1. グリーンボンド市場の形成をさらに進め発展を一層促す上で引き続き重要な役割を果たす。その際に以下の点を重視する。
 - i. 指標銘柄となりうる規模のCAB/SABを発行することにより市場流動性を高めること。
 - ii. インパクト報告書などの分野で標準化への取り組みを支援すること。
 - iii. 市場で教育的役割をしっかりと担うこと。
2. 引き続きEUグリーンボンド基準とタクソノミーの適用を実証する先頭に立ち、世界中にEU基準を広める。
3. 引き続き新商品の開発に投資し、バランスシートの資産サイドでも負債サイドでもグリーン商品のリストを拡大する。
4. EUタクソノミー規則やEUグリーンボンド基準の論理に沿うようにインパクト報告書を改善するなど、一部の実務を適応させることを検討する、また、環境、社会、ガバナンス (ESG) の問題に引受会社と取り組むことを検討する。
5. CABと通常タイプの債券との利回り格差を体系的にモニタリングし、測定する。

報告書は[こちら](#)をご覧ください。

2020年の報告

EIBは、発行日後に生じる新たな適格融資への調達資金の配分に関して先入先出法の原則を適用します。CABとSABの調達資金は、EIBの資金調達勘定内における運用マネーマーケット・ポートフォリオの別々のサブポートフォリオで管理されています。これは、国際資本市場協会のグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、サステナビリティ・ボンド・ガイドライン、欧州委員会技術専門家グループのEUグリーンボンド基準案に即しています。

2020年の調達資金の使途

気候変動への認知度を高めるための債券 (CAB)

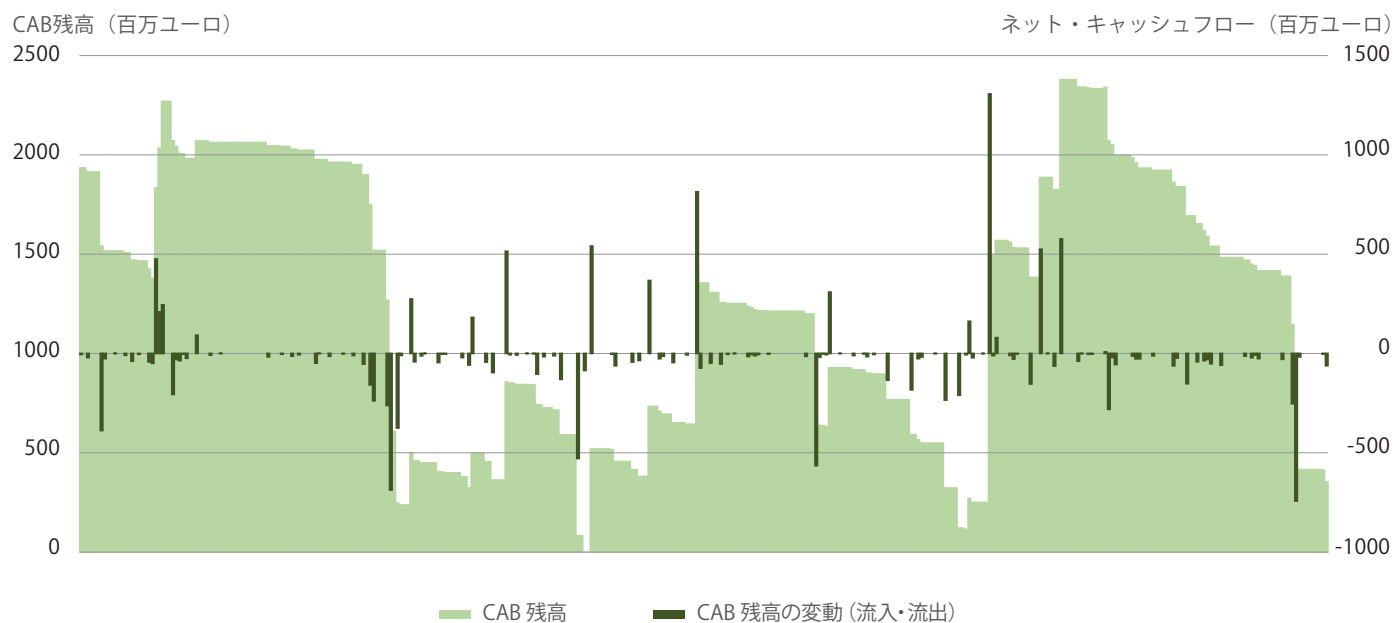
2020年にEIBは70億ユーロのCABを発行しました。年間で88億ユーロの融資がCAB発行による調達資金の配分上適格となり、EIBの配分手続きに従いCABの調達資金の内86億ユーロがこのような融資に割り当てられました。資金調達勘定CABポートフォリオ内のCAB調達資金の未配分残高は年初時点で19億ユーロ、年末時点で3億ユーロでした。

持続可能性への認知度を高めるための債券 (SAB)

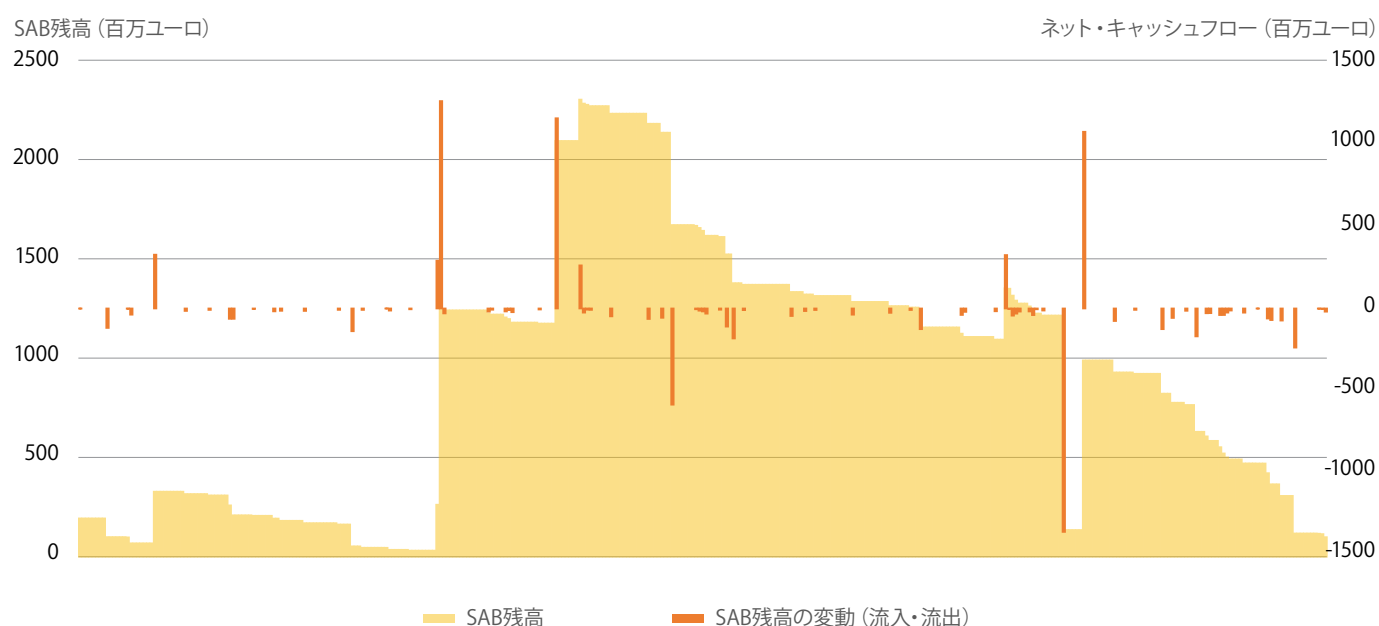
2020年にEIBは38億ユーロのSABを発行しました。年間で39億ユーロの融資がSAB発行による調達資金の配分上適格となり、EIBの配分手続きに従いSABの調達資金の内39億ユーロがこのような融資に割り当てられました。資金調達勘定SABポートフォリオ内のSAB調達資金の未配分残高は年初時点で2億ユーロ、年末時点で1億ユーロでした。



2020年のCAB調達資金の未配分残高



2020年のSAB調達資金の未配分残高:

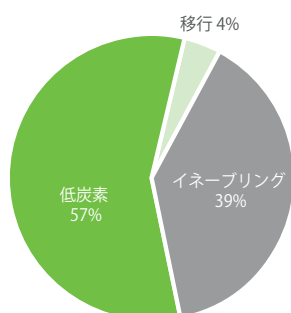


2020年の調達資金の配分

CABによる調達資金は、気候変動緩和に重要な貢献をする活動に対するEIBの融資に配分されています。

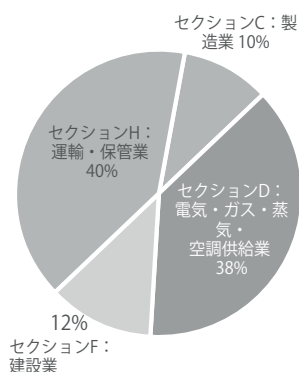
未監査データによれば、2020年に86億ユーロが30か国、121のプロジェクトに配分されました。このうち、78億ユーロはEU加盟17か国の99のプロジェクトに、また8億ユーロはEU域外の13か国、22のプロジェクトに配分されました。

CABの配分
(気候変動緩和への貢献のタイプ別*)

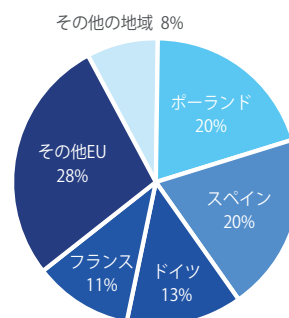


* 技術専門家グループのEUグリーンボンド基準案は、配分を「低炭素」「移行」「イネープリング(可能にする活動)」に分類することを求めています。

CABの配分
(NACEマクロ・セクター別)



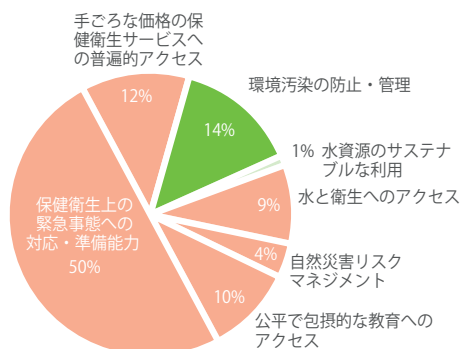
CABの配分
(地域別)



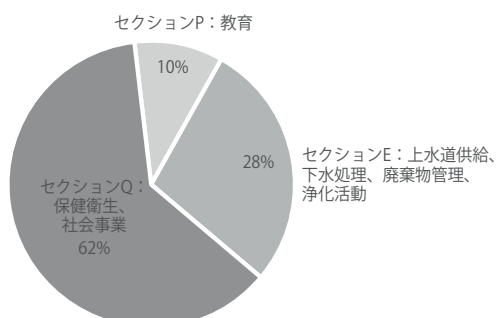
SABによる調達資金は、(気候変動緩和以外の) 環境目標と社会的目標に重要な貢献をする活動に対するEIBの融資に配分されています。

未監査データによれば、2020年に39億ユーロが36か国、77のプロジェクトに配分されました。このうち、35億ユーロはEU加盟17か国の52のプロジェクトに、また4億ユーロはEU域外の19か国、25のプロジェクトに配分されました。

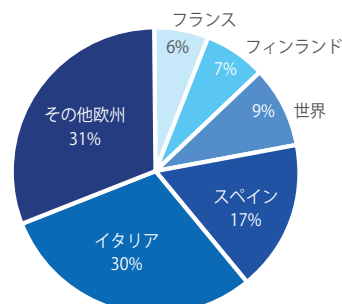
SABの配分 (サステナビリティ目標別)



SABの配分 (NACEマクロ・セクター別)



SABの配分 (地域別)



配分の詳細な報告はEIBのウェブサイトから入手できます（最終ページの「資料」欄をご覧ください）。数字は2020年の未監査データに基づくものです。

EIB気候銀行ロードマップ 2021-2025



EUタクソノミー規則に適合

EIB理事会は2020年11月、欧州グリーン・ディールの目的をEIBグループが支援していく方法について詳細に記載した気候銀行ロードマップ2021-2025（「CBR」）を承認しました。EIBグループの目標は以下のとおりです。

- **2021年1月以降：**EIBのすべての新規融資活動をパリ協定の目標と原則に合致させます。
- **2021年末以降：**削減対策のない新規化石燃料エネルギー・プロジェクトへの融資を終了します。
- **2025年までに：**気候関連活動と環境サステナビリティに特化した融資（「グリーン融資」）の割合を段階的に引き上げ、年間の新規事業の50%を上回るようにします。
- **今後10年以内に：**少なくとも1兆ユーロのグリーン融資を行います。

さらに **CBR**は、EIBが以下を実施する予定であるとしています。

- グリーン融資の追跡方法をEUタクソノミー規則に適合させます（第5.3項）。
- このような適合性をCAB/SAB適格の拡大を通じて資本市場に反映させます（第2.49項）。
- 欧州委員会が定め、また今後改定するEUグリーンボンド基準（案）にCAB/SABを段階的に適合させます（第2.49項）。

これらの計画を見越して、EIBはすでに2018年にCAB・SABの新たな調達資金使途文書を導入済みです。同文書は、サステナブル・ファイナンスに関するEU法制の進展に沿ったもので、EUタクソノミー規則に適合したEIBの融資活動に調達資金が配分される旨を規定しています。EIBはまた、CAB/SAB適格を拡大する計画を策定し、欧州委員会が定め、また今後改定するEUグリーンボンド基準および将来のいかなる「ソーシャルボンド基準」にも適合する予定であると2019年CAB/SAB枠組みで強調しました。

これは、EIBの融資活動に対するEUタクソノミー規則の適用と並行して、CAB/SAB適格を拡大する機会をEIBに提供するものです。まだEUのサステナビリティ・タクソノミーの対象となっていない社会的目標については、EIBはEUタクソノミー規則の精神と論理の範囲内で独自の定義を暫定的に使用する予定です。現状の要約は以下の通りです。

CAB/SABの適格性：現状



ウルズラ・フォン・デア・ライエン
欧州委員会委員長：

「私たちは、欧州投資銀行から多大な支援を頂いています。EIBは多国間開発銀行の役割を再定義し、欧州の気候銀行になりつつあります。貴行は、非常に重要な今後10年間について進むべき道を示しておられ、私はそれを本当に誇りに思います」

	気候変動への認知度を高めるための債券 (CAB)	持続可能性への認知度を高めるための債券 (SAB)	
	環境	環境 (気候変動緩和以外)	社会的
目標	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動緩和 (2007年) 	<p>これまで：</p> <ul style="list-style-type: none"> 水と海洋資源のサステナブルな利用と保護 (2018年) 環境汚染の防止と管理 (2018年) 生物多様性と生態系の保護と回復 (2021年) 	<p>これまで：</p> <ul style="list-style-type: none"> 水と衛生へのアクセス (2018年) 自然災害リスクマネジメント (2018年) 公平で包摂的な教育へのアクセス (2019年末) 手ごろな価格の保健衛生サービスへの普遍的アクセス (2019年末) 保健衛生上の緊急事態への対応・準備能力 (2020年)
活動	<p>適格な活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー (2007年) エネルギー効率化 (2007年) 電気鉄道インフラ、電気車両およびその他の電気公共陸上輸送車両 (2020年6月) 革新的な低炭素技術の研究、開発、普及 (2020年6月) 	<p>適格な活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の供給・管理 (2018年) 廃水の収集・処理 (2018年) サステナブルな森林の管理 (2021年) 	<p>適格な活動：</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の供給・管理 (2018年) 廃水の収集・処理 (2018年) 水害保護 (2018年) 教育 (2019年)、高等教育を含む (2020年) 保健衛生 (2019年)、新型コロナ関連の活動を含む (2020年)

Environmental Finance誌ボンド・アワードのある審査員は以下のように述べています。「新型コロナウイルスのパンデミックに対応する債券は、市場にとって起債構造の完全性に関する重要なテストとなりました。サステナブル・ファイナンスに関するEIBの十分に整備された内部インフラを用いて、EIBのチームは迅速に行動を起こしSAB枠組みに基づき新たな2種類の調達資金使途を設定しました。そのうちのひとつがパンデミックを巡る喫緊の懸念事項への対処です。世界的危機への対処に寄与するためタイムリーでしかも厳格な方法で革新するEIBの能力は、新しい有意義な調達資金使途を導入するとともに市場の完全性を保つのに貢献しました」[こちら](#)をご覧ください。

EIBは、2035年償還10億ユーロのCABに関してグリーンボンド・オブ・ザ・イヤー部門で「非常に高い評価 (highly commended)」のタイトルを受賞しました。このCABは、CAB適格を再生エネルギーやエネルギー効率化以外に拡大するとの決定を表明するものでした。



公共政策の動向

EUタクソノミー規則についてのマイルストーン：初の委任法の公表！

4月21日、欧州委員会はタクソノミー気候委任法案を公表しました。委任法は5月末に正式に採択される見通しで、EU理事会とEU議会の審査を経て年内に法律となる予定です。年内に採択される見通しの補完的な委任法によって、原子力と天然ガスに関する詳細が明らかになるとみられます。法案で公表された基準は、EUに本拠を置く上場企業の経済活動の約40%、あるいは欧州の温室効果ガス直接排出量の約80%を占めるセクターを対象としています。

よくある質問 (FAQ) は[こちら](#)をご覧ください。

サステナブル・ファイナンスに関するEUプラットフォーム

サステナブル・ファイナンスに関するEUプラットフォームは、法人・公共セクター、産業界、学界、市民団体、金融サービス業界が有するサステナビリティに関する最高の専門知識を集約するものです。このプラットフォームは、サステナブル・ファイナンス政策の進展、とりわけEUタクソノミーの一層の進展に関して欧州委員会を支援する予定です。このプラットフォームは、メンバー57名とオブザーバー10名で構成される総会を通して運営され、総会の見解、報告あるいは推奨に関する技術的作業を行うサブグループによって支えられています。責任投資原則 (PRI) の最高責任投資責任者であるNathan Fabianがこのプラットフォームの議長を務めています。

EIBは、欧州委員会によって直接任命されたメンバーの一員で同プラットフォームの取り組みに大きく貢献しています。同プラットフォームの取り組みの範囲とEIBの貢献について以下に要約します。

技術的作業を行うため現在6つのサブグループが想定されています。

- ・ **サブグループ1：技術的作業グループ**：欧州委員会に対し、環境目標に関する技術的スクリーニング基準について第19条に沿って助言します。この基準を更新する必要性について助言します。(EIBはこのグループのメンバーです)
- ・ **サブグループ2：規則の見直しに関するサブグループ**：欧州委員会に対し、タクソノミー規則を改正する必要性について助言します。このサブグループの作業はサブグループ3および4の成果に基づいて行われます。(このグループはまだ運用を開始していません)
- ・ **サブグループ3：インパクトがマイナスまたは小さい活動に関するサブグループ**：欧州委員会に対し、環境サステナビリティに重要なインパクトを与えない経済活動および環境サステナビリティに重大な害を与える経済活動に関するタクソノミーの進展について助言します。(報告者はEIBのチーフ気候変動専門家Nancy Saichです)
- ・ **サブグループ4：社会的タクソノミーに関するサブグループ**：欧州委員会に対し、タクソノミーの社会的目標への拡大と最低限の社会保護策の遵守について助言します。(EIBはオブザーバーとして参加しています)
- ・ **サブグループ5：データとユーザビリティに関するサブグループ**：データの質や利用可能性、および義務に関する市場の準備状況について助言します。サステナビリティ会計や報告の基準が果たし得る役割について助言します。この基準のユーザビリティについて助言します。サステナブル・ファイナンスに関する政策課題の評価と進展について助言します。(EIBはこのグループのメンバーです)
- ・ **サブグループ6：資金の流れのモニタリングに関するサブグループ**：サステナブルな投資へ向かう資金の流れの傾向についてモニタリングし、欧州委員会に対し定期的に報告します。(このグループはまだ運用を開始していません)

2月に一連のウェビナーが開催され、「サステナブル・ファイナンスに関するEUプラットフォーム」の今後の展開について議論がなされました。

その他の重要な「サステナブル・ファイナンスに関するプラットフォーム」



サステナブル・ファイナンスに関する国際的プラットフォーム (IPSF)

EIBは、各国政府の多国間フォーラムであるIPSFのオブザーバーです。このフォーラムは、サステナブル資本市場の統合を促進し、環境的にサステナブルなファイナンスに向けて世界レベルで民間資本をさらに動員することを目指すものです。IPSFは、中国と欧州連合が共同議長を務める**タクソノミー専門作業部会**を設置しており、EIBはこれに参加しています。同部会は、サステナブル・ファイナンスの透明性と比較可能性を高めることを目的として、グリーン投資タクソノミーの共通点と相違点を分析しています。この作業の結果は、「**Common Ground Taxonomy (共通基盤タクソノミー)**」として年内に公表される予定です。

G20サステナブル・ファイナンス作業部会

G20の財務相と中央銀行総裁は2021年4月、「サステナブル・ファイナンス研究部会」を本格的な作業部会として再設置しました。この作業部会は米国と中国が共同議長を務めます。Yi Gang中国人民銀行総裁は、来たる10月のG20サミットでは世界的に認められるグリーン・タクソノミーについて議論がなされるだろうと語りました。

EIBの動向

グリーン融資

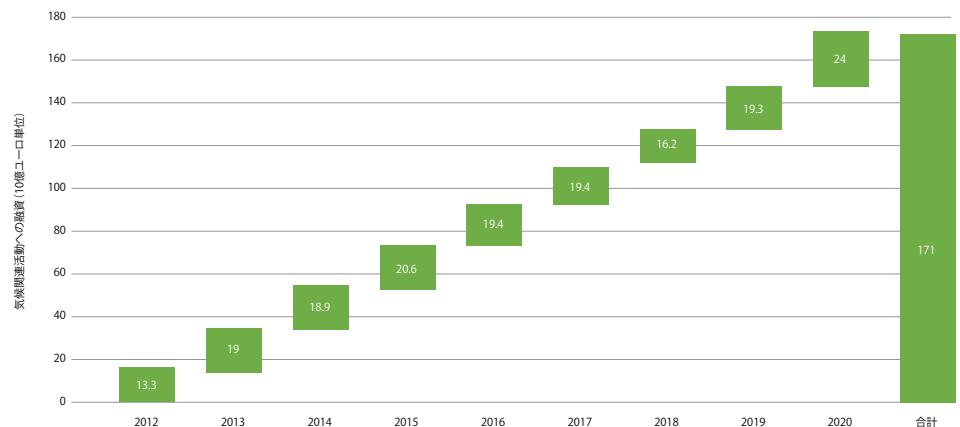
2020年に、欧州投資銀行は気候変動との闘いに242億ユーロを投資しました。これはEIBの全融資額の37%に当たります。それ以外のEIBの環境サステナビリティ融資は約18億ユーロで同年の全融資額の3%に当たります。

2012年以降、EIBは気候や環境を保護するプロジェクトに1,970億ユーロを融資し*、**6,700億ユーロ以上の投資を支援してきました。**

気候関連活動や環境サステナビリティ、あるいは「グリーン」な融資に関するEIBの基準は、EUタクソノミー規則に段階的に適合させていく予定です。

* 気候関連活動に特化した融資額1,710億ユーロおよび環境保護に特化した融資額260億ユーロ

EIBの気候関連活動への融資 (2012~2020年)



COVAX構想



EIBは12月、チーム・ヨーロッパによる多国間構想COVAXへの支援の一環として、COVAX事前買取制度 (COVAX Advance Market Commitment: COVAX AMC) への低・中所得国の参加を支援するため4億ユーロの融資に合意しました。この融資は、ワクチンが利用可能になったとき直ちに接種を行うために不可欠な初期投資を加速させるのに貢献しており、公衆衛生に対するEIBの過去最大の支援となっています。

この迅速な承認の下で実施されたEIBの融資は「持続可能な開発のための欧州基金」による保証付きであり、また、これと並行して欧州委員会はCOVAX AMCのために1億ユーロを無償で提供しています。この無償提供はすでに低・中所得国で安全かつ有効な新型コロナワクチンが入手できるよう後押ししています。また、欧州委員会はCOVAXへの支援を強化する予定です。

EIBのWerner Hoyer総裁は、この構想への資金供給を増やすことが極めて重要であると強調しました ([こちら](#)をご覧ください)。ワクチン・アライアンスであるGaviと米政府が主催したOne World Protectedイベントにおける演説で、Hoyer総裁はCOVAXへの支援を6億ユーロに増やす予定であることを確認しました。EIBは、COVAXに金融支援を提供している唯一の国際金融機関です。パンデミックが始まって以降、EIBはワクチン開発、公衆衛生および新型コロナからの経済回復を支援するため、欧州を始め世界中で400億ユーロ以上の新規融資を承認しました。

暫定的な (ワクチン) 配分 予想の公表によって、世界中の政府や保健機関はワクチン接種の国家計画を立てることができます。5月25日現在、COVAXは125以上の参加国に対し7,100万回分以上の新型コロナワクチンを出荷しました。[COVAX構想](#)は、2021年に低所得国の人口の少なくとも27%に届くことを目指しています。

COVAX AMCのプロジェクトは、**持続可能性への認知度を高めるための債券**からの配分を受ける適格性を有しています。

CAB・SAB発行の概要

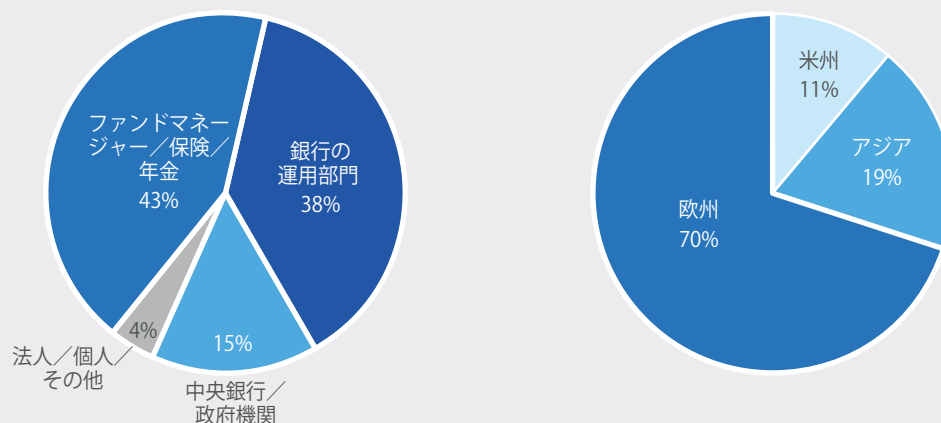
	2021年の発行				既発債合計			総発行額 (2007 ～2021年)
	金額 (10億)	金額 (10億 ユーロ相当)	件数	全体に占める割合	金額 (10億)	金額 (10億 ユーロ相当)	銘柄数	金額 (10億 ユーロ相当)
CAB		5.24	13	77%		30.71	47	38.91
ユーロ	1.5	1.5	3	29%	12.9	12.9	9	16.5
米ドル	1.5	1.25	1	24%	8	8.10	7	8.10
豪ドル	1.75	1.11	3	21%	4.45	2.84	5	3.02
カナダ・ドル	1	0.65	1	12%	2.7	1.81	4	2.15
英ポンド					1.4	1.55	1	3.93
スウェーデン・ クローナ	1.5	0.15	1	3%	15.17	1.54	6	2.58
デンマーク・ クローネ					4.5	0.6	1	0.6
スイス・ フラン					0.35	0.28	1	0.28
ポーランド・ ズロチ	1.25	0.27	1	5%	2.25	0.5	2	0.5
ノルウェー・ クローネ	1.5	0.15	1	3%	2	0.33	2	0.33
人民元	1	0.13	1	2%	1	0.13	1	0.13
日本円					5	0.04	1	0.04
ロシア・ ルーブル	3	0.03	1	1%	3	0.03	1	0.03
香港ドル					0.3	0.03	1	0.03
インド・ ルピー*					1.42	0.02	2	0.02
ブラジル・ レアル*					0.04	0.007	2	0.15
メキシコ・ ペソ					0.04	0.002	1	0.002
トルコ・リラ								0.17
南アフリカ・ ランド								0.35
SAB		1.56	2	23%		6.5	8	6.5
ユーロ	1.5	1.5	1	96%	4	4	3	4
米ドル					2	1.77	2	1.77
スウェーデン・ クローナ					5	0.46	2	0.46
豪ドル	0.1	0.06	1	4%	0.45	0.27	1	0.27
総計		6.8	15	100%		37.21	55	45.41

* シンセティック形式

CAB・SABの既発債合計は372億1,000万ユーロ(相当)以上、55銘柄、17通貨建てで償還期限は2047年までとなっています。



2015～2020年のCAB・SABに関する分布



CAB・SABの需要に占めるファンドマネージャーの比率は通常の債券の場合より高くなっています (43%。通常の債券では21%)。欧州の投資家からの需要も好調で、2015～2020年に欧州投資家のEIB普通債に占める割合は67%だったのに対し、CAB・SABに占める割合は70%でした。

CAB・SABの発行を通じて、EIBは通常ならEIB債を購入しない投資家も引きつけています。したがって、これらの発行手段は投資家基盤の多様化を促進します。

既発CAB・SABの完全なリストについては、[以下をクリックしてください。](#)

[気候変動への認知度を高めるための債券の既発債 \(eib.org\)](#)

[持続可能性への認知度を高めるための債券の既発債 \(eib.org\)](#)

CAB枠組み

CAB枠組みは、EUタクソノミー規則に関連するEIBの今後の行動を明らかにするものです。EIBの経営陣はCABの内部基準を、欧州委員会が定め、また今後改定するEUグリーンボンド基準に段階的に適合させていく予定です。詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

SAB枠組み

SAB枠組みは、EUタクソノミー規則に関連するEIBの今後の行動を明らかにし、外部審査 (KPMGによる独立した合理的な保証 (国際監査基準3000) の下での監査) の実施をCABからSABに拡大します。EIBの経営陣はSABの内部基準を、欧州委員会が定め、また今後改定するEUグリーンボンド基準および将来のあらゆる「ソーシャルボンド基準」にも段階的に適合させていく予定です。まだEUのサステナビリティ・タクソノミーの対象となっていない社会的目標については、EIBはEUタクソノミー規則の精神と論理の範囲内で独自の定義を暫定的に使用する予定です。SABは2018年に、当初は水プロジェクトに焦点を当てて発行されました (配分報告とインパクト報告はこの最初の2018～2019年SAB枠組みに含まれています)。その適用範囲は2019年終盤に保健衛生と教育のプロジェクトに拡大されました (配分報告とインパクト報告は2020年SAB枠組みに追加され、2021年に公表される予定です)。これら全てのプロジェクトは気候変動緩和 (CABの対象範囲です) 以外の環境目標と社会的目標に重要な貢献をしています。詳細については、[こちら](#)をクリックしてください。

主なポイント



金融面

- ・規模：現在までで国際機関最大（389億ユーロ）のグリーンボンド発行体。2020年の発行額は過去最高（12通貨、68億ユーロ）
- ・流動性：コア市場（ユーロ、米ドル）およびローカル市場（スウェーデン・クローナ、デンマーク・クローネ、ポーランド・ズロチ、豪ドルなど）で指標銘柄になりうる規模の発行
- ・ユーロ建てイールド・カーブ：9参照ポイント、2047年までの償還期限
- ・プロジェクトに対してではなくEIBの信用に対するリスク：SABはシニア無担保債で他のEIB債と同格に扱われます。



金融面

- ・規模：現在までに65億ユーロを発行。2020年の発行額は過去最高（4通貨、38億ユーロ）
- ・流動性：指標銘柄になりうる規模の発行（ユーロ、米ドル、スウェーデン・クローナ、豪ドル）
- ・ユーロ建てイールド・カーブ：15億ユーロのSABの新規発行は第3の参照ポイントを追加し、2041年まで償還期限を延長
- ・プロジェクトではなくEIBの信用に対するリスク：SABはシニア無担保債で他のEIB債と同格に扱われます。

透明性と説明責任

- ・グリーンボンド原則に適合
- ・適格性：サステナブル・ファイナンスに関するEU法令（策定中）に沿って気候変動緩和に重要な貢献をするプロジェクト
- ・クオリティ：厳しいEU基準を適用したプロジェクト・デューデリジェンスに関する専門知識
- ・透明性：調達資金の使途および環境へのインパクトに関する詳細な報告
- ・外部機関による審査：KMPGによる独立した合理的な保証の下での報告書（ISAE3000）

透明性と説明責任

- ・グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則およびサステナビリティ・ボンド・ガイドラインに適合
- ・適格性：サステナブル・ファイナンスに関するEU法令の進展に沿って（気候変動緩和以外の）環境的・社会的サステナビリティ目標に重要な貢献をするプロジェクト
- ・クオリティ：厳しいEU基準を適用したプロジェクト・デューデリジェンスに関する専門知識
- ・透明性：調達資金の使途および資金調達したプロジェクトのインパクトに関する詳細な報告
- ・外部機関による審査：KMPGによる独立した合理的な保証の下での報告書（ISAE3000）

資料

気候変動への認知度を高めるための債券の既発債: http://www.eib.org/en/investor_relations/products/type/cab/index.htm

持続可能性への認知度を高めるための債券の既発債: http://www.eib.org/en/investor_relations/products/type/sab/index.htm

CAB・SABの配分報告:

http://www.eib.org/en/investor_relations/documents/eib-cab-projects.htm

https://www.eib.org/en/investor_relations/documents/eib-sab-projects.htm

CAB・SABに関するプレス・リリース: https://www.eib.org/en/investor_relations/press/index.htm

EIBの債券はブルームバーグ上でご覧になれます: <https://blinks.bloomberg.com/screens/eib%206>

CAB・SABニュースレター

© European Investment Bank, 2021.

2021年5月

All rights reserved

権利およびライセンスに関するすべてのご質問はpublications@eib.orgにお寄せください。

免責事項

本資料は情報提供だけを目的としています。本資料は証券購入の申出または勧誘ではなく、また、本資料において示される情報は、何らかの契約上またはその他のいかなる種類の義務の根拠となるものではありません。EIBにより発行された証券は、米国証券法において登録されていない限り、米国において、または米国外にいる米国人に対して、提供または売却することができません。その他の国でも同様の制約を受けることがあります。本資料には、予想、見積り、予測および仮定に基づいた将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした記述は将来のパフォーマンスを保証するものではなく、予想が困難な一定のリスクや不確実性を含んでいます。将来実際に生じる事象やトレンドは、こうした見通しに関する記述で予想される内容と大幅に異なることがあります。本資料は本資料の日付時点での記述であり、EIBには当該日付以降の事象、状況または予想の変更を反映させるよう本資料を更新する義務はありません。

締め切り期日に間に合わせるため、本公表資料の内容はEIBの標準的な校正を経ていません。

European Investment Bank

Investor Relations
98-100, boulevard Konrad Adenauer
L-2950 Luxembourg
investor.relations@eib.org
(+352) 43 79 - 53000

http://www.eib.org/investor_relations/cab/index.htm